

2年半ぶりに教室で対面講義が始まる



新潟：サテライト教室の様子



東京：141講堂での1年生の講義



新潟：学生指導システム「ソクラテス」を使用した問題演習の様子



新潟：対面教室の様子

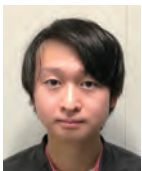


東京：151講堂での3年生の講義



東京：タブレットやPCを用いた双方向の授業

対面講義を受けてみて



生命歯学部3年
清水 駿佑

私達が入学した令和2年に新型コロナウイルスが流行し始め、

入学以降ほぼずっと家で授業を受けてきました。そして3年後期になって、ようやく初めて本格的な対面授業が始まり、今までの遠隔授業とは全く異なる大学生活になりました。最初はオンライン授業の時とは

異なる大学生活に慣れないことも多く大変でしたが、対面授業になり大学の友人と過ごす時間が増え、また、授業でわからないことを教え合うことで講義の理解度も上がりました。



新潟生命歯学部3年
遠藤 悦也

私が入学した令和2年は新型コロナウイルスが流行し始めた年だったため、実習以外はすべてオンライン授業でした。今年度の後期からは対面講義が始まり、まず感じたのは生

活リズムの違いでした。対面であるということは、大学へ向かう前に色々準備をしなければいけないので、就寝時間や起床時間が変わり、最初の頃はかなり苦戦しました。また、対面講義とはいっても感染対策を行った上での実施なので、本来の対面講義とは異なり機器のトラブルなどで先生方の動揺を感じる部分もありました。現

在はそういった問題もなく落ち着いて講義を受けられています。講義中も、対面ということである程度緊張感がでるのか、真剣に受講している学生が多いように感じました。対面講義を行うことで、学生同士や先生方とコミュニケーションを直接取ることが多くなり、そういった環境は学習に良い影響を与えていると感じました。

コロナを吹っ飛ばせ! —クラブ活動の現場から— クラブ紹介 バドミントン部

生命歯学部

こんにちは。バドミントン部です。

バドミントン部は、プレイヤー 41名で毎週水曜日、土曜日に飯田橋の体育館で練習しています。

今年は、デンタルも開催されるということだったので連覇を目指して、それに向けて夏のきつい練習も取り組んできました。

しかし、デンタルは中止になり、また秋大会もなくなってしまいました。ただ、それにも関わらず部員一人ひとりが次の大会に向けて日々生懸命練習しています。

四年生は引退しました



生命歯学部4年
飯田 健太郎

が、次の後輩達が大会に参加して、来年こそ連覇してくれることを心より楽しみにしています。

また、主将として私自身コロナの影響で、今までと違いなかなかうまくいかないことも多々ありました。しかし、みんなで一致団結して部活を築き上げられてきたかなと思います。バドミントンは、個人スポーツですが、部活としては団体です。みんなの気持ちが一になって、一つの部活を築き上げることができ、よかったです。

今後ともバドミントン部への応援をよろしくお願い致します。



新潟生命歯学部

新潟校のバドミントン部の活動日は月曜日、火曜日、木曜日の週3回です。年間の行事としては、ゴールデンウィークの福島での合宿、6月と11月に行う他大学との練習会、夏の全日本歯科大学学生総合体育大会、

12月にはOBの先輩と試合を行って1年間を締めくくります。

2019年の大会では、女子シングルス優勝、2018年には、女子団体、ダブルス優勝と毎年輝かしい成績を残しています。こ



新潟生命歯学部4年
安藤 開

れらの成績は、応援に来てくださる顧問やOBの先生、また経験者としてアドバイスをくれる仲間たちのおかげです。そのような環境での練習なので、初心者の部員でも力をつけ、トーナメントを勝ち進むこともできました。実際、入部する部員の半数以上が初心者です。

バドミントン部は他大学との交流も多く、学年や男女関係なく、楽しい部活です！今年は部員が約20名も入ってくれたので、コロナの流行によって止まっていた活動を、より一層盛り上げていきたいと思っています。



国家試験体験記

私は今年卒業し、現在は臨床研修医として外部研修先にて研修しております。

それぞれ自分に合った勉強や暗記の方法があると思いますので、今回ご紹介させていただくのも、方法の一つとして思い出していただければ嬉しいです。

インプットしたこと(習ったこと)を記憶に定着させるためには、アウトプット(頭から出すこと)が大切だとよく言われます。今回はアウトプットの方法を中心にお伝えします。

●まとめノートの作成

まとめノートは、2～4年生で学ぶ科目に有効です。今後学年が上がり、5、6年生で同じ単元や項目を講義で反復学習

国試合格に向けた6年間の過ごし方

する際にも、このまとめノートは知識や情報の追加をしていく媒体として役に立ちました。自分の好きな参考書を使い、ノート代わりにして講義内容を書き込んでいくのもいいかと思います。

●講義中の演習問題や国試問題を解く

2、3年生は初めて出会う科目や内容がたくさんあります。何がポイントなのか掴みどころがわからないこともありました。そんな時には当該項目の問題を解いたり、予備校参考書を確認することで、要点が把握でき、知識を広げていくことに役立ちました。

●隙間時間の使い方

特に6年生の時に、何度も間違ってしまう内容や覚えられないことをポス

ットに書き出し、家の中の目につく所に貼っていました。

アウトプットの勉強法以外でも、わからないことをそのままにしないという習慣や、デジタルツールを活用し、日々増えていく講義資料や周辺データをうまく管理し、後で容易に見返せるようにしておくことも大切かと思

います。
休む時は休み、勉強する時はするとうようにメリハリをつけ、心も身体も元気に6年間をお過ごしください。皆さんの国家試験合格をお祈りしております。



附属病院
臨床研修歯科医
合場 奈美
(111回)

餃子の街の 3代目



栃木県宇都宮市開業
新潟生命歯学部非常勤講師(生化学)
螺良 修一 (79回)

宇都宮市は栃木県の県都、その街のド真ん中に螺良(つづら)歯科医院が

あります。2022年の今年には医院開設90年目の節目の年、そこで働く私は家業3代目の後継ぎ歯科医、みなさんの中できっと同じような境遇の学生さん達も多いんじゃないかしら。開設者の螺良源太郎(祖父:1970年没)は本学18回卒、2代目院長の螺良勉(父)が49回卒、そして3代目の私が79回卒、更には叔父の螺良友康が52回卒、その息子さん(従弟)の螺良典秀が82回卒と、まさに「日本歯科大学ファミリー」なのです。

一族自慢はこれくらいにして、このコーナーでは家族同士で仲良く歯科医院を運営する、家族同士で楽しく臨床にチャレンジする、そのためのコツをまとめてみました。皆さんの学費を出してくださる家族の方との“付き合い方=これからのポイント”として、未来の自

分と家族との関わり、などを想像しながら読んで下さいね。

ポイント1:大学生活と卒業後の進路は繰り返し何度でも話す(自分の考えをたくさん聞いてもらう)。

ポイント2:医療者として違った得意分野を持つ(お父上は義歯が得意、ならば自分は歯周病、とか)。

ポイント3:先代を無理やり尊敬しない(仲良くやっていたら、勝手に似てくるモノです)。

ポイント4:地元(地域)の行事に極力参加する(親子でギクシャクした時でも地域の人たちは双方を助けてくれます)。

ポイント5:休む日は別にする(100%一緒ではない、そんな時間も大切)。以上が私の経験から伝えたい5つの“コツ”です。

家族間に限らず、コミュニケーションと信頼関係は、ヒト対ヒトの社会生活では最も大切な部分、医療者はそこが特に優れている必要があると私は感じています。校友である同業者の話や色々聞いて思う点、お互い助け合い、一つの医院を運営できる歯科医師一家は、患者さんや地域の方とのコミュニケーションが実に絶妙です。私

も、親子で医院を運営している一人です。まだまだ改善の余地があるのですが、これからも家族関係をうまく維持しながら、診療にプライベートに、楽しい人生を歩んでいきたいと思っています。

歯科医3代目だからこそ、の苦勞はありましたが、家族運営で失うモノより得られるモノが何倍も多かったです。

皆さんにも帰るべき「ふる里」があることでしょう。そこに“戻る立場”になる頃には、私のコラムを思いだし、家族仲良く地域貢献に勤めていただきたいと思います。伝統ある本学には、3代目、4代目、あるいは5代目の歯科医を目指す学生さんが学んでいるのかもしれない。



島根 地区別校友会紹介

島根県校友会会長の吉田です。わが島根県校友会は会員数30名の比較的小規模な会ですが、島根県や各地域の歯科医師会の役員を務められた方も多く、現在も若い先生方が活躍しています。

活動は、年1回、校友会本部より来賓をお迎えし、総会を開きます。島根県は東西に長い地形をしていて、すぐには会員の先生方が集まりにくいので、総会と同日に学術講演会を歯学会より講師をお迎えて開催します。久しぶりに会えた先生方と一緒に勉強し、懇親会でおいしい食事やお酒を味わいながら語り合い、翌日にはゴルフコンペも企画し、親睦を深めています。

また、中国地方では各県の校友会が持ち回りで中国地区役員連絡協議会を秋頃に開催して、問題点などを話し合います。近年はコロナ感染のためどちらの活動も残念ながら延期が続いていますが、近々、状況が落ちついたら活動も再開できると考えています。

校友会の皆様が、島根県に来られるときは是非、ご連絡ください。校友会会員一同歓迎します。皆で語り合いましょ。



吉田 敬 (67回)

連絡先:
吉田歯科クリニック
0852-23-1323

〒692-0014
島根県安来市
飯島町409-1

学生短信 Tokyo

馬に乗る週末



生命歯学部2年
姫野 愛

2年ぶりに部活動が再開した今年の春、私は馬術部に入部しました。今まで馬と触れあったのは幼い頃の乗馬体験のみで、全く経験者ではありません。その楽しかった思い出と、馬術についてのグーグル検索だけを頼りに、私は入部してしまっただけです。始めてみると、早起きして一時間半かけて通う週末、馬に噛まれ、踏まれそうになりながらの馬房掃除、意外にも重労働な日々でした。また、馬術では、腹筋・背筋・腕・脚・目線・コーチの声など、脳みそ一つでは足りないほどに様々な方面へ意識を巡らせなくてはなりません。想像以上に忙しいものです。

しかし、徐々にわかってくる馬たちの個性、都会を離れ緑の中で汗をかける毎週末、何より大好きな先輩や後輩との関わりで、いつしか馬術部は私のホームになりました。今この瞬間のこの経験は何年経っても鮮やかに思い出せると自信をもって言えるのです。

さて、10月に初めての大会がありました。半年の練習の成果、結果は散々。悔しかった。学校の名前を出している以上申し訳ない気持ちでいっぱいでした。実は、現在進行形で挫折中です。この結果を笑って思い出せる未来にするため、今後はより意識を高くもち、練習を積み重ねていきます。

身内に医療人がいなかった私は歯学部に入部し、馬術部に入部し、本当にチャレンジだらけの大学生生活が始まりました。気づいたら2年の終わりで、時は目まぐるしく過ぎていきます。

平日は教科書と、週末は馬との対話を大切に、この日常を悔いなく過ごしていきたいです。

東京

『訪問歯科診療の実践 寄り添う訪問歯科』

監著：下山 和弘 深山 治久

出版社：一般財団法人 口腔保健協会

出版年月：2022/03 請求記号：D.92/Sh55

登録番号：100038712



本書ではこれから訪問歯科診療を行う歯科医師・歯科衛生士に、基本知識や安全に歯科診療を行うための方法、訪問診療の際に行う事務手続きや診療報酬の請求などを紹介しています。今後、需要が高まると予想される訪問歯科診療に実地で有用な知識や技術も記載されているため、歯科医師を目指す学生には将来の働き方の参考にもなる一冊となっています。

●図書館開館情報

開館情報はQRコードから閲覧ください。



新潟

『病気をもった高齢者が歯科に来院されたときに読む本 知っておきたい!全身疾患と薬の基礎知識』

著者：松村 香織

出版社：クインテッセ出版

出版年：2022

請求記号：D9-M

登録番号：000140565



高齢者に多い医科疾患の基礎知識に始まり、そのような疾患を持った高齢者が来院した場合の対応法、医科の先生との連携や「高血圧症患者における局所麻酔使用の注意点」や「抗血栓療法患者における観血的歯科治療」といった実際の治療時における注意点等を図表やイラストを多用してわかりやすく解説しています。

●図書館開館情報

平日 9:00 ~ 18:00 第2水曜日 12:00 ~ 18:00 土曜日 終日閉館
貸出・返却・閲覧のみの利用になります。

図書館からの
推薦図書

KOYU Quiz

Q. この右側舌の疾患は何でしょう?



ヒント

表面粘膜の色は暗紫色で触った感じは柔らかく、圧迫によって、色は退色します。

この舌の疾患は、舌の癌の一種である舌癌の初期症状の一つです。舌の癌は、舌の粘膜に発生する悪性腫瘍で、早期発見・早期治療が重要です。

臨床研修施設ご紹介

【第4回】

赤坂歯科クリニック



港区赤坂開業
米本 久史
(83回)

こんにちは。赤坂歯科クリニックの米本久史です。当院は、東京都の都心部で開業し、21年が経ちました。

現在は、都内に5医院、埼玉に1医院を運営しておりますが、私が日本歯科大学出身であることもあり、法人内には同窓が多いような気がします。当院での臨床研修を終え、そのまま当院に勤めてくれている先生もいます。また、医院運営の経験を活かす、歯科医院の経営者になるということについてもアドバイスができるため、後の開業支援も行っております。

私たちは、「すべては患者さま

のために」という理念のもと、患者さまお一人おひとりにとって最適な治療をご提案しています。

本院である赤坂歯科クリニックでは、インプラント、矯正歯科治療、歯科口腔外科、審美治療、拡大鏡やマイクロスコープを使用する高精度のマイクロエンド治療、そして予防歯科等、当院に在籍する各分野の専門医師と歯科衛生士が、最適な歯科

治療をご提供するために日々最先端の知識の取得、技術向上を目指し、研鑽を重ねています。

研修中にさまざまな治療を見学でき、勉強することができるので、歯科医療の学びと挑戦の場として、様々な刺激を受けながら成長することができるでしょう。基本的な手技の指導から専門医の先生の処置を見て学ぶことも多くあり、患者さま一人ひ

とりの満足度を向上させるにはどうしたら良いかを常に考え、歯科医師としてだけでなく、人間的にも成長できるよう環境を整えています。

興味を持たれた先生方には、ぜひ見学にお越しいただければ、と思います。常に向上心を持った方と共に、よりよい歯科医療グループの創造を目指していきたいと考えております。



- ①世界基準の技術と知見を取得したインプラント専門歯科医が安全かつ高度な治療を提供しています。
- ②口腔外科のためのオペ室を完備。
- ③臨床に裏打ちされた確かな治療技術と各専門医によるチーム医療。
- ④法人のゴルフコンペ。他にもBBQや社員旅行等、たのしいイベントを開催。

校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

